

マザー・テレサ 真鍋 和子
めあて

テレサの生き方について考えよう。(七、八、九の場面)
〜今も人々の中に生きている「テレサの心」とは、何だろう。〜

テレサの心

貧しい人は神様と同じ

- ・ 貧しい人たちのために働くことは神様のために働くこと
- ・ 神様につかえる者として、何よりも大きな喜び
- ・ 貧しい人は美しい。
- ・ 自分が苦しいときも人に分け与えることができる



- ・ 一人一人の人間を限りなく大切にすること
- ・ 心の底から人を愛する

今も人々の中に生きているテレサの心

テレサ、生がいをとじる(一九九七年)

- ・ 数十万の人々でうずまる
 - ・ 貧しい人々による手製の祭壇
 - ・ いつまでも花が絶えない
- 死をおしむ人々
感謝の気持ち
受けつぐ気持ち

一人一人の人間を限りなく大切にしたい生き方・考え方が、
今も世界中の人々に共感され、受けつがれている。

8 / 11 時間目 指導略案 ワークシート カバー
活動のねらい (七、八、九の場面)

テレサの心とは何か考え、テレサの生き方について読み取らせる。

1 テレサの心を表現している叙述を探して読み取る。

- テレサの心が分かる叙述に、赤線を引く。
- 「貧しい人は神様と同じ」「貧しい人は美しい」の言語表現をとらえ、言いかえればどういうことなのかを叙述から探す。
- テレサの一番強い思い(心)とは何か考える。
- (発問)今も人々の中に生きているテレサの心とは、何でしょう。
- テレサの心を考えることで、それを貫いた生き方につなげていく。

2 テレサの心が今も受け継がれていることを読み取る。

- テレサが生涯を閉じた後の、人々の行動に着目する。
- 亡くなった後も、人々の中に生きている心について、根拠を出しながら話し合う。

【評価】叙述に即して、伝記に描かれたテレサの行動や考え、
生き方を読み取っている。

3 ブックカバーを書き、本時の学習のまとめをする。

- ・ 七、八、九の場面のあらすじ、心に残ったテレサの言葉や行動、自分の考えを短くまとめ書く。

色分けして叙述に線を引く。(テレサの心...赤線)